

2016年12月改訂(製造販売元住所変更に伴う改訂)
服用に際して、この添付文書を必ずお読みください
また必要に応じて読めるよう大切に保管してください
使用期限(パッケージ裏面及びビンラベルに記載)を過ぎた製品は服用しないこと

販売名:ナリピタン **第②類医薬品**

△使用上の注意

⊗してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと
15才未満の小児
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと
他の乗物酔い薬、かぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮痙去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬など(鼻炎用内服薬、アレルギー用薬など)
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと
(眠気等があらわれることがある)
4. 長期連用しないこと



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
(1) 医師の治療を受けている人 (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人 (3) 薬などによりアレルギー症状やぜんそくを起こしたことがある人 (4) 今までに他の抗ヒスタミン剤、乗物酔い薬、かぜ薬、鎮痙去痰薬などによりアレルギー症状(例えば、発疹・発赤、かゆみ等)を起こしたことがある人 (5) 次の症状のある人：排尿困難 (6) 次の診断を受けた人：緑内障(例えば、目の痛み、目のかすみ等)、心臓病

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
泌尿器	排尿困難
循環器	血圧上昇

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること

症状の名称	症 状
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮ふや粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること：口のかわき、眠気、便秘、下痢
4. 5～6日間服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

(裏面につづく)

耳なり、肩コりに **ナリピタン** **第②類医薬品**

成分・分量 9錠中

ニコチン酸アミド	180mg
カフェイン水和物	180mg
パルバリン塩酸塩	45mg
チアミン塩化物塩酸塩(ビタミンB1)	90mg
リボフラビン(ビタミンB2)	9mg
クロルフェニラミンマレイン酸塩	18mg
アロエ末	18mg
アミノ安息香酸エチル	270mg

添加物として、アラビアゴム末、カオリン、ケイ酸 Mg、セラック、ゼラチン、タルク、炭酸 Ca、デキストリン、白糖、ハレイショデンブ、ヒマシ油、黄色4号(タートラジン)を含有する

保管及び取扱い上の注意

(1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管すること (2) 小児の手の届かない所に保管すること (3) 他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる) (4) 本剤をぬれた手で扱わないこと (5) ビンの中の詰め物は輸送時の破損防止用なので開封時に捨てること (6) 乾燥剤は服用しないこと

製品のお問合せは、お買い求めのお店又はお客様相談室にお願いいたします
発売元 **小林製薬株式会社** 製品のお問合せ先(お客様相談室) 製造販売元 **原沢製薬工業株式会社**
〒541-0045 大阪市中央区道修町4-4-10 ☎0120-5884-01 〒108-0074 東京都港区高輪2-14-17
ホームページ <http://www.kobayashi.co.jp> 受付時間 9:00~17:00 (土・日・夜日を除く)

製品特徴

1. 気になる耳なり、肩こりを改善する内服薬です 2. 有効成分ニコチン酸アミド、パルバリン塩酸塩が、血行を改善し、ビタミンB群が加齢とともに衰えた神経の調子を整え、耳なり、肩こりを改善します

効能・効果

耳鳴症、皮ふ炎、蕁麻疹(じんましん)、にきび、吹出物、肩こり

用法・用量

次の量を食後に水又はお湯で服用してください

年 齢	1 回 量	服 用 回 数
大人(15才以上)	2～3錠	1日3回
15才未満	× 服用しないこと	

<用法・用量に関連する注意>

- (1) 定められた用法・用量を厳守すること
- (2) 吸湿しやすいため、服用のつどキャップをしっかりとしめること
- 15才未満は服用しないこと

10159847

MADE IN JAPAN